

令和3年度OBK式模試問題

数 学 (理系)

200 点満点

◀ 配点は、問題用紙に記載のとおり。 ▶

(注 意)

1. 問題冊子及び解答用紙は投稿されるまで開かないこと。
2. 解答冊子は表紙のほかに、各自で用意した各種ページ含めて 16 ページあることを想定する。
3. 問題は全部で 6 題ある (1 ページから 2 ページ)。
4. 難易度は京大の易からやや易レベル中心のつもりである。
5. 解答は解答冊子の指定された解答用ページに書くこと。ただし、続き方をはっきり示して見開きに隣接する計算用ページに解答の続きを書いてもよい。その場合は、解答用ページに「計算用ページに続く」旨を記すこと。このときに限って、計算用ページに書かれているものを解答の一部として採点する。また、余白ページに書かれたものは採点の対象としない。
6. 解答のための下書き、計算などは、計算用ページまたは余白ページに書いて、残しておいてもよい。
7. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
8. 解答冊子は、どのページも切り離してはならない。
9. 解答は後日投稿するので、答案を送る必要はない。

1

(35 点)

k を正の整数, p, q を素数とする. このとき $(pq)^p - q^q + q = kp^q$ を満たす p, q は存在しないことを示せ.

2

(35 点)

三角形 OA_1B_1 の重心を G_1 とする. 半直線 OA_1, OB_1 上に任意の n 個の点を取り, それぞれの点を A_n, B_n とし, 三角形 OA_nB_n の重心を G_n とする. このとき G_2, G_3, \dots, G_n が半直線 OG_1 上に存在するならば, 三角形 OA_1B_1 と三角形 OA_kB_k ($2 \leq k \leq n$) は相似な三角形であることを示せ.

3

(30 点)

α, β, γ は $0 < \alpha, 0 < \beta, 0 < \gamma, \alpha + \beta + \gamma = \pi$ を満たす実数とする. このとき, $\cos\alpha\cos\beta\cos\gamma$ の最大値を求めよ.

4

(35 点)

a, b は $0 < a, 0 < b, 1 < a + b \leq \sqrt{2}$ を満たす実数とする. このとき,

$$-1 < \frac{b(2a^2-1)}{2-b} + \frac{a(2b^2-1)}{2-a} \leq 0 \text{ であることを示せ.}$$

5

(30 点)

正 n 角系 D の外接円 P の半径を R , 内接円 Q の半径を r とし, D と P の接点を時計回りにそれぞれ A_1, A_2, \dots, A_n . D と Q の接点を時計回りにそれぞれ

B_1, B_2, \dots, B_n とする. ここで弧 $A_k A_{k+1} (1 \leq k \leq n)$ と D で囲まれた部分の面積

を S_n . 弧 $B_k B_{k+1}$ と D で囲まれた部分の面積 T_n としたとき $\lim_{n \rightarrow \infty} n(S_n - T_n)$ を

求めよ.

6

(35 点)

$0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ として, 次のように定義される数列 $\{a_n\} (n = 1, 2, 3, \dots)$ を

$$a_1 = \cos \frac{\pi}{4}, \quad a_{n+1} = 2a_n \left(\frac{2\cos \frac{\theta}{2^n} \tan \frac{\theta}{2^n}}{1 + \cos \frac{\theta}{2^n}} \right) \cdots (*)$$

としたとき, $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_n}{\sin \frac{\theta}{2^{n+1}}}$ を求めよ.

問題は, このページで終わりである.